

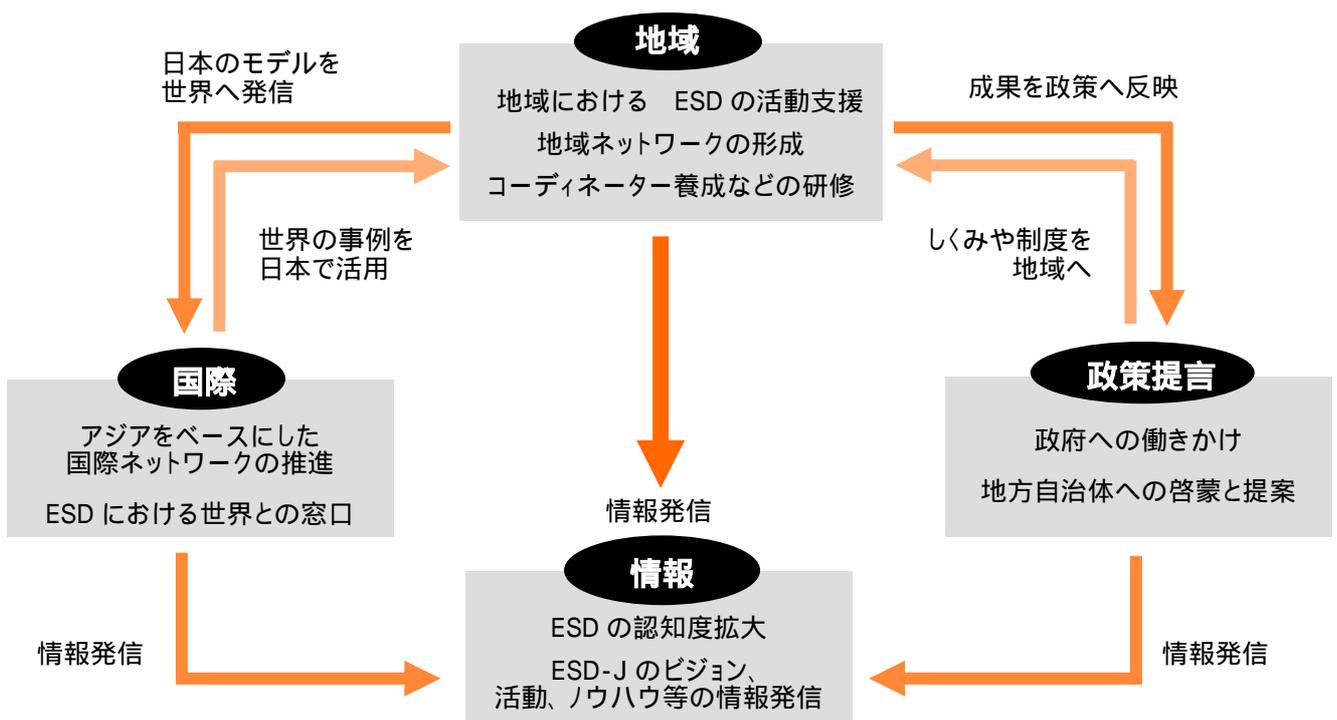
「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD -J)



ESD-Jは、2005年から始まった「ESDの10年」を追い風として、日本における持続可能な社会の実現に向けた教育を推進するため、社会の課題を扱う教育に関係する NGO、NPOなどの組織や、個人の動きをつなぎ大きな力としていくことを目指して、2003年6月に発足したネットワーク団体です。ESD-Jは環境・人権・平和・福祉など、多様な分野で活動する100以上の団体で構成されています。

ESD-Jの活動

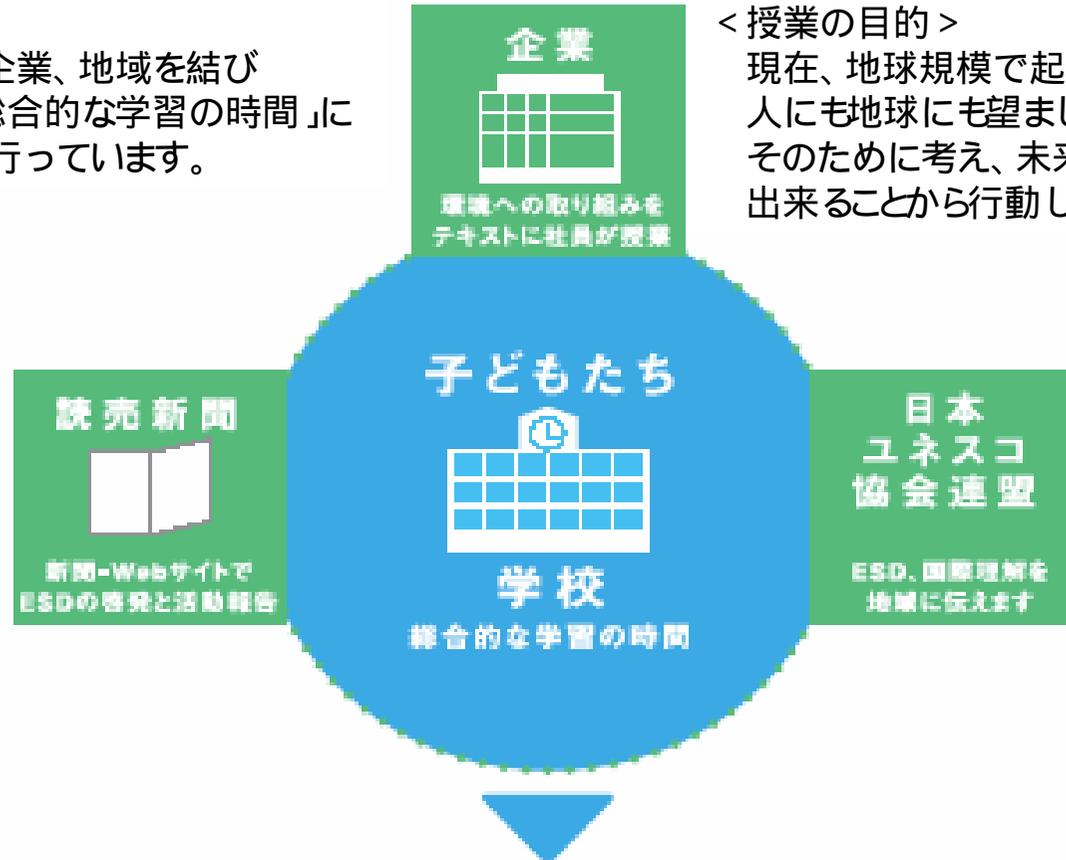
- ✳️ 地域における ESD の活動支援、つなぐ仕組みをつくる地域ネットワークづくり
- ✳️ より良い政策や、具体的な取り組みを実現していくための政策提言
- ✳️ ESD のセミナーやコーディネーター養成などの、研修および普及啓発
- ✳️ ウェブサイトや季刊誌「ESD レポート」など各種メディアによる情報発信
- ✳️ ESD に関するアジアをベースにした国際ネットワークの推進



「ずっと地球と生きる」学校プロジェクト

(主催 : 日本ユネスコ協会連盟、読売新聞社)

教育現場と企業、地域を結び
小学校の「総合的な学習の時間」に
出前授業を行っています。



< 授業の目的 >

現在、地球規模で起きている課題を学ぼう
人にも地球にも望ましい発展のあり方を考えよう
そのために考え、未来に向け、
出来ることから行動しよう

全国各地へ広げていきます

持続可能な社会について子どもたちが考えるきっかけ作りとして、企業とNGOの協力で学校へ出前授業を実施しています。授業は企業と日本ユネスコ協会連盟などから講師派遣し、持続可能ではない現代の社会やこれを改善するための環境への取り組みを紹介します。

授業後は担任の先生を中心に、自らが環境に対して、地球に対してどのようなことができるかなどを考え、深めてもらいます。これらの模様は読売新聞で記事として取り上げるほか、専用のウェブサイトで全国に発信しています。

民間ユネスコ活動を通じたESDへの取り組みを学び広めるために、日本ユネスコ協会連盟が青年会員を対象に行う事業を通じて、推進者(ファシリテーター)を育成していくことも目指します。

ESDの10年の推進に向けた国連大学の取組み - 地域の拠点（RCE）づくり -

国際連合大学高等研究所

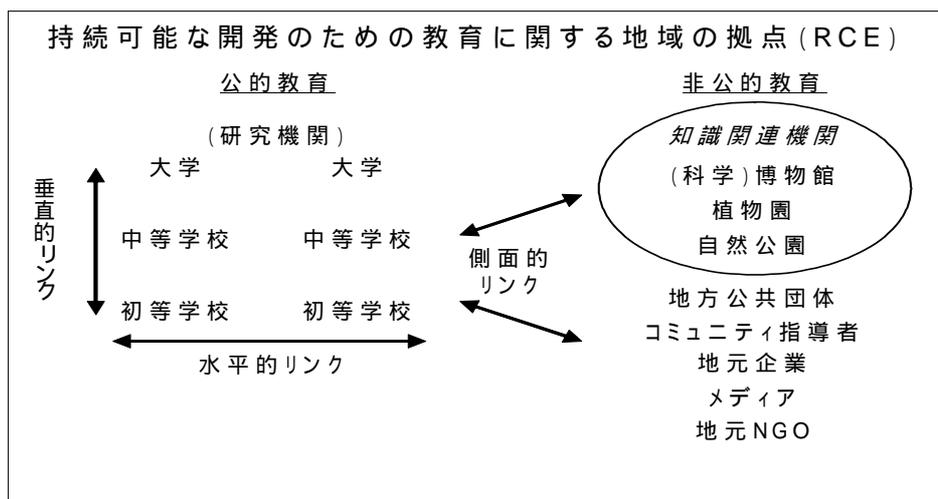
「国連持続可能な開発のための教育の10年」（「ESDの10年」）の推進に向けて、国連大学は「持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点（RCE）」づくりを提唱しています。

1. 地域の拠点（RCE）とは

（RCE：Regional Centres of Expertise on Education for Sustainable Development）

- ・ 地域において、ESDに関わりのある組織、団体等のネットワークを作り、関係者が連携・協力してESDをより効果的に実践していこうとするもの

<地域レベルで対話の場をつくることにより、ESDをより効果的に推進>



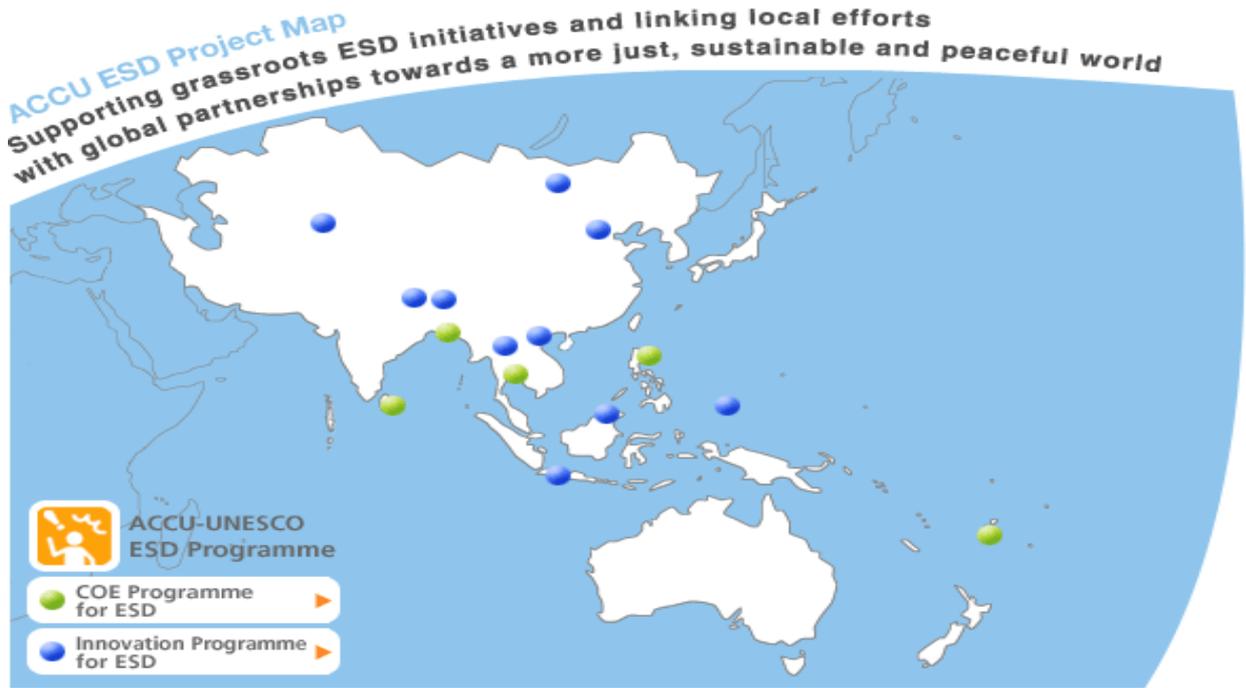
2. 地域の拠点（RCE）の主な機能

- ・ 地域の多様な関係者がESDに関する情報や経験を交流できるような積極的な対話の場の提供
- ・ ESDを推進しようとする様々な関係者に対して適切な助言や資料提供をするような「地域の知識ベース」の構築

3. 今後の地域の拠点（RCE）づくりの展望

- ・ 2007年7月現在、日本の仙台広域圏地域、岡山地域、横浜地域及び北九州地域を含む世界の35地域が国連大学によりRCEとして認定され、更に2007年内にはRCE認定地域は約50地域増えることが予想されている。

今後さらにRCEを増やし、ESDが世界各地で普及・定着することを目指す。日本国内においては、ブロック内のESD推進役として、東北、関東等の各ブロックごとに1～2地域のRCEを置くことを予定。



➤ **COE 形成プログラム(2006-2010 年)**

[事業目的] アジア太平洋地域において、ESD の理念の普及・事業推進のために、優れた活動を行っている組織を ESD 事業拠点(COE: Centre of Excellence)として支援。

実施団体	主な事業テーマ
アジア南太平洋成人教育協議会(AS PBAE)(NGO)	市民グループによる政策提言への ESD 的要素の導入促進とデータ調査手法の研修の実施
ダッカ・アーサニア・ミッション(DAM)(NGO)	地域密着型の意識向上プログラム
タイ環境研究所(TEI)(NGO)	教員等指導者の革新的な事業の支援と ESD 教材作成
TVE アジア太平洋(TVEAP)(NGO)	優良事例の公募とテレビ番組の制作
南太平洋大学(USP)	教員養成と既存の講義の改良、新規コースの設置

➤ **イノベーション創成プログラム(2006-2007 年)**

[事業目的] アジア太平洋地域において、ESD を実施・推進する上で好事例となる革新的な事業の発掘と支援。

実施団体	主な事業テーマ
インドネシア環境フォーラム：ワルヒ(NGO)	防災意識と対処能力の向上
ネパール学校外教育リソースセンター(NGO)	女性や社会的弱者の所得創出と生活向上
エンマウス高校職業訓練プログラム(NGO)[パラオ]	職業技術訓練を通じた青少年育成
ブータン教育省ノンフォーマル教育局	住民参加型学習による農業生産改良
ベトナム国立教育研究所特別なニーズを持つ子どもの教育センター	障害を持つ未就学児に対する家庭での初期介入推進
カダザンドゥスン言語財団(NGO)[マレーシア]	少数言語の家族識字向上プログラムと教員研修
モンゴル教育文化科学省 国立ノンフォーマル教育・遠隔教育センター	ESD ノンフォーマル教育教材開発及び人材養成
ウズベキスタン国民教育省 国立教育センター特殊教育資料センター	インクルーシブ教育の試験的实施
タイ教育省初等教育局	参加型学習と教員用ガイドライン開発
中国 ESD 事業委員会	農村部の小中学校の ESD 活動の実践と教員研修

注：団体名は仮訳。イノベーション創成プログラムでは ACCU 制作のマルチメディア環境・ESD 教材(PLANET)も活用。